

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

Appln. No: To Be Assigned  
Applicants: Norifumi Sata et al.  
Filed: Herewith  
Title: REMOTE CONTROL TRANSMITTER  
Docket No.: MAT-8508US

**CLAIM TO RIGHT OF PRIORITY**

Mail Stop Patent Application  
Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Pursuant to 35 U.S.C. § 119, Applicant(s) hereby claim the benefit of prior Japanese Patent Application No. 2003-073847, filed March 18, 2003.

A certified copy of the above-referenced application is enclosed.

Respectfully submitted,

RatnerPrestia

Lawrence E. Ashery, Reg. No. 34,515  
Attorney for Applicants

LEA/kc

Enclosure: Certified Copy of Patent Application No. 2002-073847

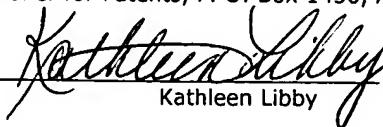
Dated: February 23, 2004

P.O. Box 980  
Valley Forge, PA 19482-0980  
(610) 407-0700

The Commissioner for Patents is hereby authorized to charge any additional fees/credit any overpayment of fees associated with this communication to Deposit Account No. **18-0350**.

**EXPRESS MAIL** Mailing Label Number: **EV 351884547 US**  
Date of Deposit: **February 23, 2004**

I hereby certify that this paper and fee are being deposited, under 37 C.F.R. § 1.10 and with sufficient postage, using the "Express Mail Post Office to Addressee" service of the United States Postal Service on the date indicated above and that the deposit is addressed to the Commissioner for Patents, P. O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450.

  
Kathleen Libby

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 3月18日

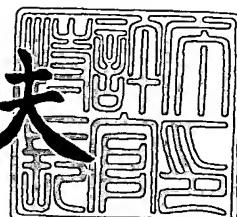
出願番号 Application Number: 特願2003-073847  
[ST. 10/C]: [JP2003-073847]

出願人 Applicant(s): 松下電器産業株式会社

2003年11月14日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3094388

【書類名】 特許願

【整理番号】 2165040094

【提出日】 平成15年 3月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04B 10/04

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電子部品株式会社内

【氏名】 佐田 紀文

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電子部品株式会社内

【氏名】 武田 嘉樹

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電子部品株式会社内

【氏名】 今田 博

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100097445

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100103355

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 智康

**【選任した代理人】**

【識別番号】 100109667

**【弁理士】**

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

**【手数料の表示】**

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

**【提出物件の目録】**

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 リモコン送信機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 遠隔操作する機器の個々の機能または個々の機能の組合せを表わすグループメニューを表示する表示手段と、前記個々の機能またはグループメニューの選択・決定操作を行う操作手段と、機器を遠隔操作する信号を送信する送信手段と、前記操作手段の操作によって前記表示手段の表示を制御する制御手段からなり、前記操作手段の操作によって所定のグループメニューを選択すると、前記制御手段がこのグループメニューの個々の機能も同時に前記表示手段に表示させるリモコン送信機。

【請求項 2】 操作手段の操作によって所定のグループメニューを決定すると、このグループメニューの個々の機能の全てを送信し、同時に表示された個々の機能を決定するとこの所定の個々の機能のみを送信する請求項 1 記載のリモコン送信機。

【請求項 3】 グループメニュー及び個々の機能に加えて、遠隔操作する機器の機器メニューまたはグループメニューの組合せを表わす代表メニューの少なくとも一方も同時に表示手段に表示する請求項 1 記載のリモコン送信機。

【請求項 4】 グループメニュー及び個々の機能をそれぞれ円柱状の外周面上に表示する請求項 1 記載のリモコン送信機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、機器の遠隔操作を行うリモコン送信機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、テレビ機器やビデオ機器等の遠隔操作を行える機器が増えるに伴い、一つのリモコン送信機を操作してこれらの複数の機器を遠隔操作できるものが増えている。

【0003】

また、その事に加えて、頻繁に使う複数の個々の機能等を記憶させてこれらの設定した所定の機能を送信させることのできるものや、これらの設定した所定の機能の全てを送信させることのできるものも増えている。

#### 【0004】

このような従来のリモコン送信機について、図6から図8を用いて説明する。

#### 【0005】

図6は従来のリモコン送信機の外観図、図7は同ブロック回路図であり、同図において、このリモコン送信機の左方前面には、液晶表示素子等の表示手段1が設けられている。

#### 【0006】

また、右方前面には、上下方向の選択鉗2D、2E、左右方向の選択鉗2F、2G、決定鉗2C、電源鉗2A等が配設されて、操作手段2が形成されている。

#### 【0007】

そして、この内部には制御手段3が形成されると共に、この制御手段3からの電気信号を赤外線信号に変換して送信する送信手段4が表示手段1の上方に配設され、この送信手段4や操作手段2、表示手段1が制御手段3に接続されてリモコン送信機が構成されている。

#### 【0008】

以上の構成において、このリモコン送信機を用いて、例えばテレビ機器の電源をONする遠隔操作を行う場合について説明する。

#### 【0009】

先ず、電源鉗2Aを押圧操作すると、制御手段3がこれを検出して、図8(a)の画面表示図に示すような、遠隔操作するテレビ機器の「TV」等の機器メニュー等が表示された初期画面を表示手段1に表示させる。

#### 【0010】

次に、表示内容の選択を行う半透明のカーソル1Aは、最上の「TV」の箇所に表示されるため、この状態で決定鉗2Cを押圧操作すると、制御手段3がこれを検出して、図8(b)に示すような、テレビ機器の電源ONを表わす「ON」等の個々の機能が表示された画面を表示させる。

**【0011】**

最後に、カーソル1Aは左上の「ON」の箇所に表示されるため、このまま決定鉗2Cを押圧操作すると、制御手段3が「ON」に対応した遠隔操作の電気信号を出力し、この電気信号を送信手段4が赤外線信号に変換して送信することにより、テレビ機器が遠隔操作されて、テレビ機器の電源がONとなる。

**【0012】**

次に、テレビ機器の電源ONやビデオ機器の電源ON、再生等の複数の個々の機能を記憶させてこれらの設定した所定の機能を送信させることのできる、設定及び操作について説明する。

**【0013】**

先ず、HOME鉗2Bを押圧操作して、図8（a）の機器メニューに加えて、頻繁に使う所定の機能の組合せを表わす「Favori te」等のグループメニューが表示された初期画面を表示する。

**【0014】**

次に、カーソル1Aを「Favori te」へ移動させ、設定鉗2Hを押圧操作すると、制御手段3がこれを検知し、「Favori te」に個々の機能を設定できる状態とする。

**【0015】**

この後、上記のテレビ機器の電源をONする遠隔操作を行う場合の手順と同様にして、カーソル1Aを、先ず「TV」に移動させて決定鉗2Cを押圧操作し、次に「ON」に移動させて決定鉗2Cを押圧操作すると、テレビ機器の電源をONする機能を「Favori te」に設定できる。

**【0016】**

そして、続いて、HOME鉗2Bを押圧操作して初期画面に戻し、カーソル1Aをビデオ機器としての「VCR」に移動させて決定鉗2Cを押圧操作すると、図8（c）に示すような、テレビ機器の電源ONを表わす「ON」等の個々の機能が表示された画面が表示される。

**【0017】**

次に、カーソル1Aを「ON」に移動させて決定鉗2Cを押圧操作すると、ビ

デオ機器の電源をONする機能を「F a v o r i t e」に設定できる。

#### 【0018】

そして、この状態で、設定鉤2Hを押圧操作すると、制御手段3がこれを検出して、設定できる状態が終了したことを検知すると共に、表示手段1の表示を初期画面に戻す。

#### 【0019】

つまり、「F a v o r i t e」に個々の機能を設定する場合には、一旦、HOME鉤2Bを押圧操作して、グループメニュー等が表示された初期画面に戻す必要がある。

#### 【0020】

なお、この初期画面の中から「F a v o r i t e」を選択すると、テレビ機器の電源ONやビデオ機器の電源ON等の機能が表示された画面が表示され、この後、カーソル1Aをテレビ機器の電源ON箇所に移動し、決定鉤2Cを押圧操作すると、テレビ機器の電源がONとなる遠隔操作を行える。

#### 【0021】

最後に、テレビ機器の電源ON、ビデオ機器の電源ON、再生等の複数の個々の機能を記憶させてこれらの設定した機能の全てを送信させることのできる、設定及び操作について説明する。

#### 【0022】

先ず、HOME鉤2Bを押圧操作して、図8 (a) の機器メニューに加えて、個々の機能の組合せを表わす「M a c r o」等のグループメニューが表示された初期画面を表示する。

#### 【0023】

次に、カーソル1Aを「M a c r o」へ移動させ、設定鉤2Hを押圧操作する等、「F a v o r i t e」で所定の機能を設定した場合と同様にして、テレビ機器の電源ONやビデオ機器の電源ON、再生の機能をこの順で設定できる。

#### 【0024】

その後、設定鉤2Hを押圧操作すると、制御手段3がこれを検出して、設定できる状態が終了したことを検知すると共に、表示手段1の表示を初期画面に戻す

。

### 【0025】

つまり、「Macro」に個々の機能を設定する場合にも、一旦、HOME鉗2Bを押圧操作して、グループメニュー等が表示された初期画面に戻す必要がある。

### 【0026】

なお、初期画面の状態から「Macro」へカーソル1Aを移動し、決定鉗2Cを押圧操作すると、制御手段3がこれを検出してテレビ機器の電源ONやビデオ機器の電源ON、再生に対応した遠隔操作の電気信号をこの順で連続して出力する。

### 【0027】

すると、これらの電気信号を送信手段4が赤外線信号に変換して送信し、先ず、テレビ機器の電源がONとなり、次にビデオ機器の電源がONとなり、最後にビデオ機器が再生状態となる。

### 【0028】

なお、この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、例えば、特許文献1が知られている。

### 【0029】

#### 【特許文献1】

特開2002-152863号公報

### 【0030】

#### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら上記従来のリモコン送信機においては、頻繁に使う個々の機能等の所定の機能を設定する場合、一旦、HOME鉗2Bを押圧操作して、設定した個々の機能の組合せを表わすグループメニュー等が表示された初期画面に戻す必要があるため、複数のグループメニューの全体像と所定のグループメニューの個々の機能の対応が分かり難く、所定の機能を設定し難いという課題があった。

### 【0031】

本発明は、このような従来の課題を解決するものであり、所定の機能を設定し

易いリモコン送信機を提供することを目的とする。

### 【0032】

#### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明は、以下の構成を有するものである。

### 【0033】

本発明の請求項1に記載の発明は、操作手段の操作によって個々の機能の組合せを表わすグループメニューを選択すると、制御手段がこのグループメニューの個々の機能も同時に表示させるようにしてリモコン送信機を構成したものであり、複数のグループメニューの全体像と所定のグループメニューの個々の機能の対応が分かり易いため、所定の機能を設定し易いリモコン送信機を得ることができるという作用を有する。

### 【0034】

請求項2に記載の発明は、請求項1記載の発明において、操作手段の操作によって所定のグループメニューを決定すると、このグループメニューの個々の機能の全てを送信し、同時に表示された個々の機能を決定するとこの所定の個々の機能のみを送信するものであり、所定のグループメニューの個々の機能の全てを送信させたり、グループメニューの所定の個々の機能のみを送信させたりする操作も行い易いという作用を有する。

### 【0035】

請求項3に記載の発明は、請求項1記載の発明において、グループメニュー及び個々の機能に加えて、遠隔操作する機器の機器メニューまたはグループメニューの組合せを表わす代表メニューの少なくとも一方も同時に表示手段に表示するものであり、グループメニュー及び個々の機能に加えて、遠隔操作する機器の機器メニューが同時に表示されたり、グループメニューの組合せを表わす代表メニューが同時に表示されたりするため、所定の機器のグループメニューを選択し易くできたり、所定の代表メニューのグループメニューを選択し易くできたりするという作用を有する。

### 【0036】

請求項4に記載の発明は、請求項1記載の発明において、グループメニュー及

び個々の機能をそれぞれ円柱状の外周面上に表示したものであり、グループメニューや個々の機能が多く、それらを全て表示できない場合でも、表示できないグループメニューや個々の機能を円柱状の外周面上の裏側に隠れていることを容易に連想させることができるので、所定のグループメニューや所定の個々の機能を選択し易くできるという作用を有する。

#### 【0037】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図1～図5を用いて説明する。

#### 【0038】

##### (実施の形態)

図1は本発明の一実施の形態によるリモコン送信機の外観図、図2は同プロック回路図であり、同図において、このリモコン送信機の左方前面には、液晶表示素子等の表示手段11が設けられている。

#### 【0039】

そして、この表示手段11の左側には、円柱状の外周面上に、遠隔操作する機器の個々の機能の組合せを表わす「CHANNEL」や「INPUT」等の複数のグループメニュー20が上下に配列されている。

#### 【0040】

なお、表示内容の選択を行う半透明のカーソル11Aは、これらのグループメニュー20の中央の「CHANNEL」の箇所に表示されている。

#### 【0041】

また、これらの右側には、同じく円柱状の外周面上に、カーソル11Aによって選択されている「CHANNEL」のグループメニュー20の個々の機能を表わす「1ch」や「2ch」等の複数の個々の機能21が上下に配列されている。

#### 【0042】

そして、これらのグループメニュー20及び個々の機能21の上方には、遠隔操作するテレビ機器としての「TV」等の機器メニュー22やグループメニュー20の組合せを表わす「Customize」等の代表メニュー23が左右に配

列されている。

#### 【0043】

また、リモコン送信機の右方前面には、電源釦12A、RETURN釦12B等が配設されて、操作手段12が形成されている。

#### 【0044】

そして、表示手段11の前面には、下面に透明な酸化インジウム錫等の上電極が形成された可撓性を有する上基板と、上面にこの上電極と所定の間隔を空けて対向する下電極が形成された下基板からなる、所謂、透明タッチパネル16が配置されている。

#### 【0045】

また、リモコン送信機の内部にはマイクロコンピュータ等によって制御手段13が形成されると共に、この制御手段13からの電気信号を赤外線信号に変換して送信する赤外発光ダイオード等の送信手段14が表示手段11の上方に配設されている。

#### 【0046】

そして、この送信手段14や表示手段11、操作手段12、透明タッチパネル16が制御手段13に接続されて、リモコン送信機が構成されている。

#### 【0047】

以上の構成において、このリモコン送信機を用いて、頻繁に使う複数の個々の機能等を記憶させてこれらの設定した所定の機能を送信させることのできる、設定及び操作について説明する。

#### 【0048】

先ず、電源釦12Aを押圧操作すると、制御手段13がこれを検出して、図1に示したような、表示手段11に個々の機能21やグループメニュー20、機器メニュー22、代表メニュー23等が同時に表示された初期画面を表示させる。

#### 【0049】

また、同時に、カーソル11Aを左上の機器メニュー22の「TV」と中央のグループメニュー20の「CHANNEL」の箇所に表示させる。

#### 【0050】

次に、代表メニュー23の「Customize」前面の透明タッチパネル16に触れると、この箇所の透明タッチパネル16の上電極と下電極がONし、制御手段13がこれを検出して、図3(a)に示すように、カーソル11Aをこの「Customize」の箇所に移動させる。

#### 【0051】

また、同時に、この下方左側には円柱状の枠を表示させると共に、この右側にはこの円柱状に表示させる「Favorite-1」等のグループメニュー20の名称が上下に配列されたグループメニュー名称選択画面24を表示させる。

#### 【0052】

ここで、この中から「Favorite-1」前面の透明タッチパネル16に触れると、図3(b)に示すように、「Favorite-1」をグループメニュー20として、この左側の円柱状の外周面上に表示させる。

#### 【0053】

その後、機器メニュー22のテレビ機器としての「TV」前面の透明タッチパネル16に触れると、図3(c)に示すように、この「TV」にもカーソル11Aを表示させてテレビ機器を選択する。

#### 【0054】

また、同時に、このテレビ機器の「ON」等の個々の機能の名称が上下に配列された機能名称選択画面25をグループメニュー20や円柱状の枠に代えて表示させると共に、この右側には円柱状の枠を表示させる。

#### 【0055】

続いて、機能名称選択画面25の「ON」前面の透明タッチパネル16に触れるると、図3(d)に示すように、テレビ機器の電源ONを表わす「TV ON」を個々の機能21として、この右側の円柱状の外周面上に表示させる。

#### 【0056】

つまり、制御手段13が「Favorite-1」のグループメニュー20に「TV ON」を個々の機能21として設定する。

#### 【0057】

次に機器メニュー22のテレビ機器としての「VCR」前面の透明タッチパネ

ル16に触れると、図4（e）に示すように機器メニュー22のカーソル11Aを「TV」から「VCR」に移動させる。

#### 【0058】

また、同時に、機能名称選択画面25に表示されている個々の機能の名称をテレビ機器のものからビデオ機器のものに変える。

#### 【0059】

そして、この機能名称選択画面25の中からビデオ機器の電源ONを表わす「ON」及び再生を表わす「PLAY」について、「TV ON」設定時と同様の操作を行うと、図4（f）に示すように、これらの個々の機能を表わす「VCR ON」及び「VCR PLAY」を個々の機能21として円柱状の外周面上に「TV ON」に追加して表示させる。

#### 【0060】

この後、RETURN鍵12Bを押圧操作すると、設定できる状態が終了したことを検知すると共に、図4（g）に示すように、機器メニュー22の「VCR」や代表メニュー23の「Customize」に表示されていたカーソル11Aを代表メニュー23の「Favorite」に移動させる。

#### 【0061】

また、同時に、機能名称選択画面25に代えて、円柱状の枠とこの外周面上に「Favorite-1」のグループメニュー20を表示させる。

#### 【0062】

つまり、グループメニュー20としての「Favorite-1」と、このグループメニュー20の個々の機能21としての「TV ON」や「VCR ON」、「VCR PLAY」も同時に表示させる。

#### 【0063】

なお、続いて、個々の機能21、例えば、「TV ON」前面の透明タッチパネル16に触れると、制御手段13がこれを検出して、テレビ機器の電源ONの電気信号を出力し、この電気信号を送信手段14が赤外線信号に変換して送信し、テレビ機器の電源がONとなる遠隔操作を行える。

#### 【0064】

最後に、テレビ機器の電源ON、ビデオ機器の電源ON、再生等の複数の個々の機能を記憶させてこれらの設定した機能の全てを送信させることのできる、設定及び操作について説明する。

#### 【0065】

先ず、代表メニュー23の「Customize」前面の透明タッチパネル16に触れると、図3(a)に示したような、「Favorite-1」や「Macro-1」等のグループメニュー20の名称が上下に配列されたグループメニュー名称選択画面24が表示される。

#### 【0066】

次に、「Favorite-1」に個々の機能を設定した場合と同様にして、先ず、「Macro-1」前面の透明タッチパネル16に触れて「Macro-1」を選択し、次に、この「Macro-1」に「Favorite-1」と同じ個々の機能を同じ順で設定する。

#### 【0067】

すると、図4(h)に示すように、「Macro-1」のグループメニュー20が「Favorite-1」に追加されて表示されると共に、この右側には「Favorite-1」と同じ個々の機能が表示される。

#### 【0068】

つまり、グループメニュー20としての「Macro-1」と、このグループメニュー20の個々の機能21としての「TV ON」や「VCR ON」、「VCR PLAY」も同時に表示される。

#### 【0069】

なお、続いて、「Macro-1」前面の透明タッチパネル16に触れると、制御手段13がこれを検出して、「Macro-1」のグループメニュー20を決定し、テレビ機器の電源ONやVCR機器の電源ON、再生に対応した遠隔操作の電気信号をこの順で連続して出力する。

#### 【0070】

そして、これらの電気信号を送信手段14が赤外線信号に変換して送信し、先ず、テレビ機器の電源がONとなり、次にVCR機器の電源がONとなり、最後

にVCR機器が再生状態となる遠隔操作を行える。

#### 【0071】

また、以上のようにして設定した個々の機能の操作を行うのではなく、所定の機器を選択し、その機器の遠隔操作を行う場合にも、設定した個々の機能の操作を行う場合と同様に操作を行える。

#### 【0072】

例えば、テレビ機器を2chにする遠隔操作を行う場合には、図1において、先ず、機器メニュー22の「TV」に触れて、テレビ機器を選択する。

#### 【0073】

次に、テレビ機器の機能の組合せを表わすグループメニュー20の中から選択されているものを確認し、それが「CHANNEL」でなかったなら、「CHANNEL」に触れて、「CHANNEL」のグループメニュー20を選択する。

#### 【0074】

最後に、「CHANNEL」のグループメニュー20の複数の個々の機能21の中から「2ch」に触れて、2chの機能を決定する。

#### 【0075】

このように本実施の形態によれば、操作手段12の操作によって個々の機能21の組合せを表わすグループメニュー20を選択すると、制御手段13がこのグループメニュー20の個々の機能21も同時に表示させるようにしてリモコン送信機を構成することによって、複数のグループメニュー20の全体像と所定のグループメニュー20の個々の機能21の対応が分かり易いため、所定の機能を設定し易いリモコン送信機を得ることができるものである。

#### 【0076】

また、操作手段12の操作によって所定のグループメニュー20を決定すると、このグループメニュー20の個々の機能21の全てを送信し、同時に表示された個々の機能21を決定するとこの所定の個々の機能21のみを送信することによって、所定のグループメニューの個々の機能の全てを送信させたり、グループメニューの所定の個々の機能のみを送信させたりする操作も行い易くできる。

#### 【0077】

そして、グループメニュー20及び個々の機能21に加えて、遠隔操作する機器の機器メニュー22またはグループメニューの組合せを表わす代表メニュー23の少なくとも一方も同時に表示することによって、グループメニュー20及び個々の機能21に加えて、遠隔操作する機器の機器メニュー22が同時に表示されたり、グループメニューの組合せを表わす代表メニュー23が同時に表示されたりするため、所定の機器のグループメニュー20を選択し易くできたり、所定の代表メニューのグループメニュー20を選択し易くできたりする。

#### 【0078】

また、グループメニュー20及び個々の機能21をそれぞれ円柱状の外周面上に表示することによって、グループメニュー20や個々の機能21が多く、それらを全て表示できない場合でも、表示できないグループメニュー20や個々の機能21を円柱状の外周面上の裏側に隠れていることを容易に連想させることができるので、所定のグループメニュー20や所定の個々の機能21を選択し易くできる。

#### 【0079】

なお、以上の説明では、透明タッチパネル16が表示手段11の前方に配置される構成とし、グループメニュー20または個々の機能21の選択または決定の操作を行うものとして説明したが、これに代えて、鉗、 トラックボール、パッド等で、選択または決定の操作を行うものとしても良い。

#### 【0080】

例えば、図5に示すように、上下方向の回転操作により上下方向を選択できる選択鉗12Eや左右方向の選択鉗12F及び12G、決定鉗12Hを配設する構成として、選択鉗12Eや12F、12Gにより、カーソル11Aを移動させてグループメニュー20または個々の機能21を選択し、決定鉗12Hで選択されているものを決定するものとしても良い。

#### 【0081】

また、選択鉗12Eを上下方向の回転操作に加え前後方向への押圧操作も可能に形成すると共に、この背後に押圧操作によって電気的接離を行うスイッチを配設して、選択鉗12Eに決定鉗12Hを一体化した構成とすれば、機能の選択に

加え、決定も一つの選択鉗12Eでできるため、さらに使い易いものとすることができる。

#### 【0082】

さらに、選択鉗12Eを球状とし、左右方向の選択鉗12Fおよび12Gも一体化した構成とすることも可能である。

#### 【0083】

また、選択鉗12Eは表示手段11の右方前面の他、リモコン送信機の右方側面等に配設しても良い。

#### 【0084】

そして、2つの機器メニュー22と2つの代表メニュー23を同時に表示するものとして説明したが、これらのメニュー数が多過ぎて見づらい場合には、図3(a)に示したように、これらのメニューの左右端26、27前面に触れることで、これらのメニューを左右方向へ順に送るようにして全てのメニューを表示できるようにしても良い。

#### 【0085】

また、グループメニュー名称選択画面24や機能名称選択画面25の名称数が多過ぎて見づらい場合には、これらの名称の上下端28、29や30、31前面に触れることで、これらの名称を上下方向へ順に送るようにして全ての名称を表示できるようにしても良い。

#### 【0086】

そして、以上の説明では、グループメニュー20等に設定する名称をグループメニュー名称選択画面24等の中から選択したが、文字を入力して、例えば、「Favorite-1」等の名称を「お気に入り」等の好みに応じて変更できるようにしても良い。

#### 【0087】

更に、以上の説明では、「Macro-1」のグループメニュー20を決定すると、この「Macro-1」の複数の個々の機能21の機能の全てが送信されるものとして説明したが、それ以外のグループメニュー20、例えば、「Favorite-1」を選択し、もう一度、「Favorite-1」を選択すると

、この「F a v o r i t e - 1」が決定されて、この「F a v o r i t e - 1」の複数の個々の機能 2 1 の全てが送信されるようにしても良い。

### 【0088】

#### 【発明の効果】

以上のように本発明によれば、所定の機能を設定し易いリモコン送信機を得ることができるという有利な効果が得られる。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

本発明の一実施の形態によるリモコン送信機の外観図

##### 【図 2】

同ブロック回路図

##### 【図 3】

同表示図

##### 【図 4】

同表示図

##### 【図 5】

本発明の他の実施の形態によるリモコン送信機の外観図

##### 【図 6】

従来のリモコン送信機の外観図

##### 【図 7】

同ブロック回路図

##### 【図 8】

同表示図

#### 【符号の説明】

1、11 表示手段

1A、11A カーソル

2、12 操作手段

4、14 送信手段

12A 電源釦

12B RETURN鉗

12E 選択鉗

12F 左方向の選択鉗

12G 右方向の選択鉗

12H 決定鉗

13 制御手段

16 透明タッチパネル

20 グループメニュー

21 個々の機能

22 機器メニュー

23 代表メニュー

24 グループメニュー名称選択画面

25 機能名称選択画面

26 機器メニューや代表メニューの左端

27 機器メニューや代表メニューの右端

28 グループメニュー名称選択画面の上端

29 グループメニュー名称選択画面の下端

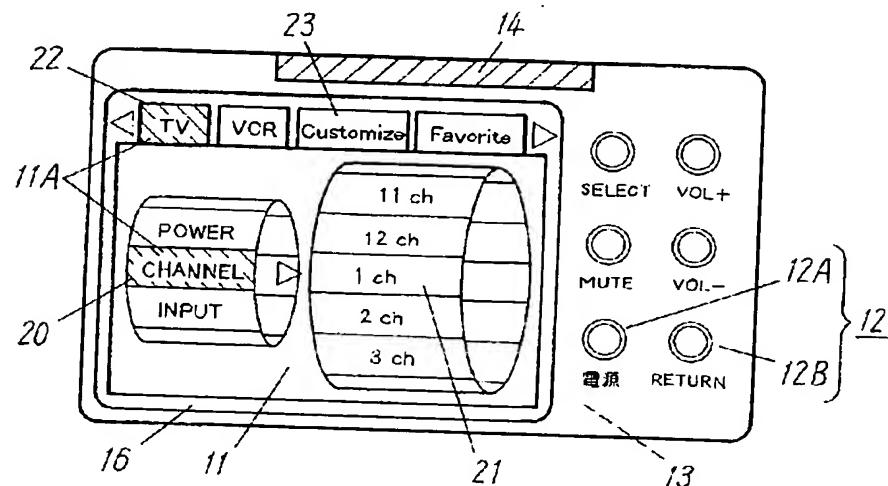
30 機能名称選択画面の上端

31 機能名称選択画面の下端

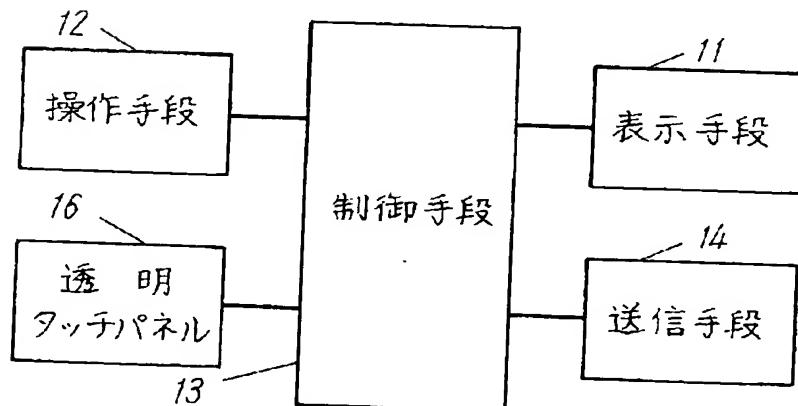
【書類名】 図面

【図1】

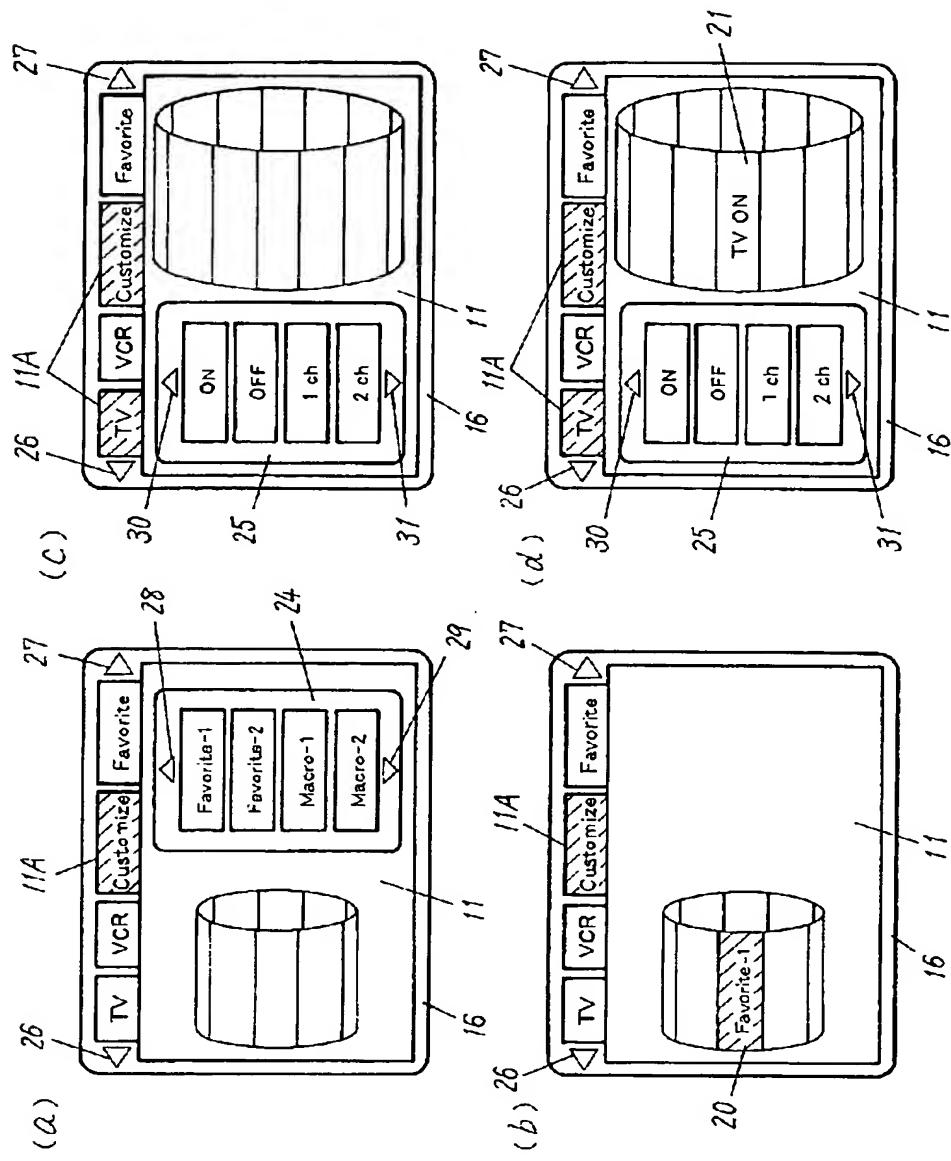
- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| 11 表示手段  | 12B RETURN鍵 | 20 グループメニュー |
| 11A カーソル | 13 制御手段     | 21 個々の機能    |
| 12 操作手段  | 14 送信手段     | 22 機器メニュー   |
| 12A 電源鍵  | 16 透明タッチパネル | 23 代表メニュー   |



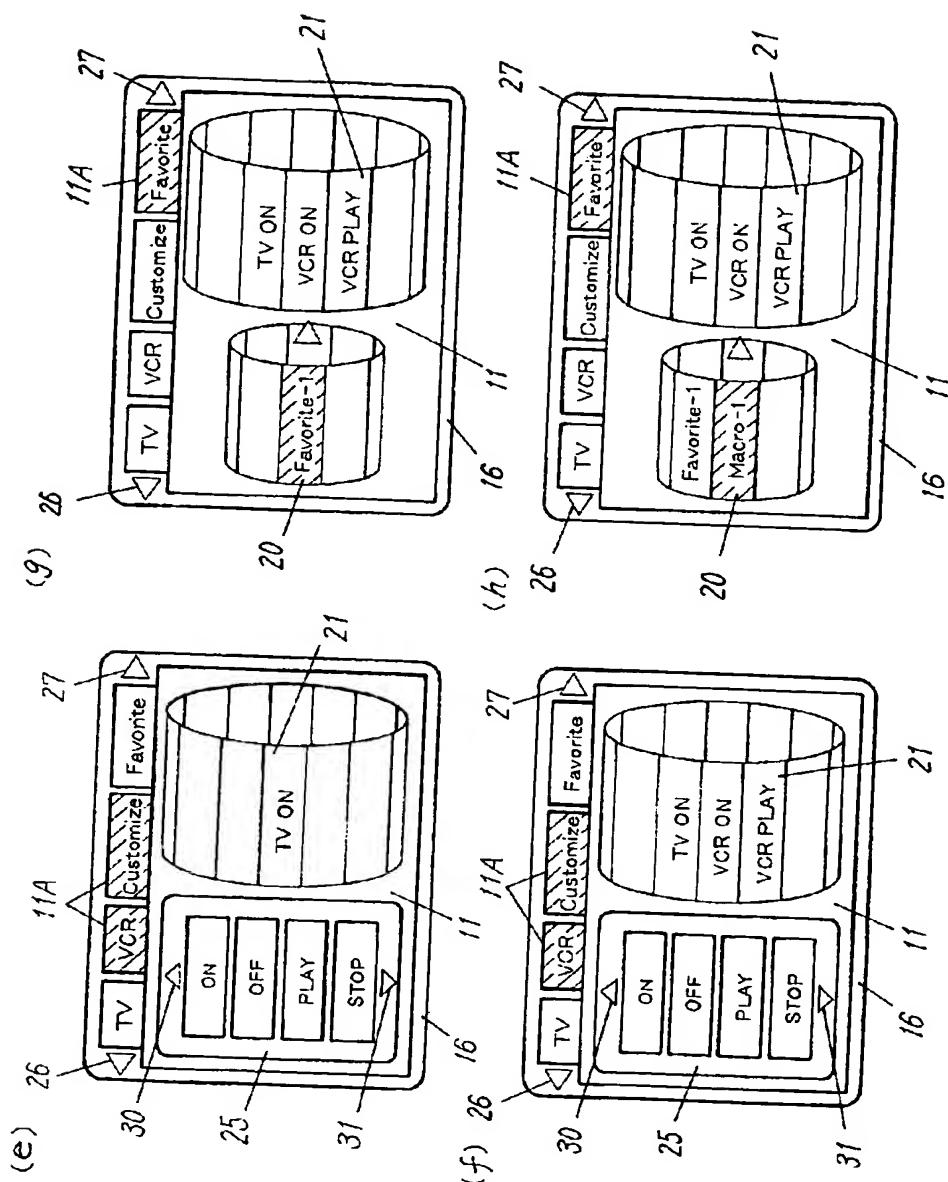
【図2】



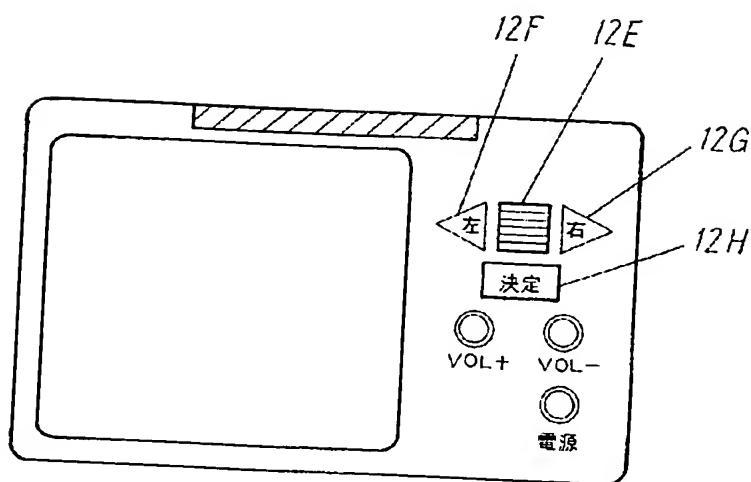
【図3】



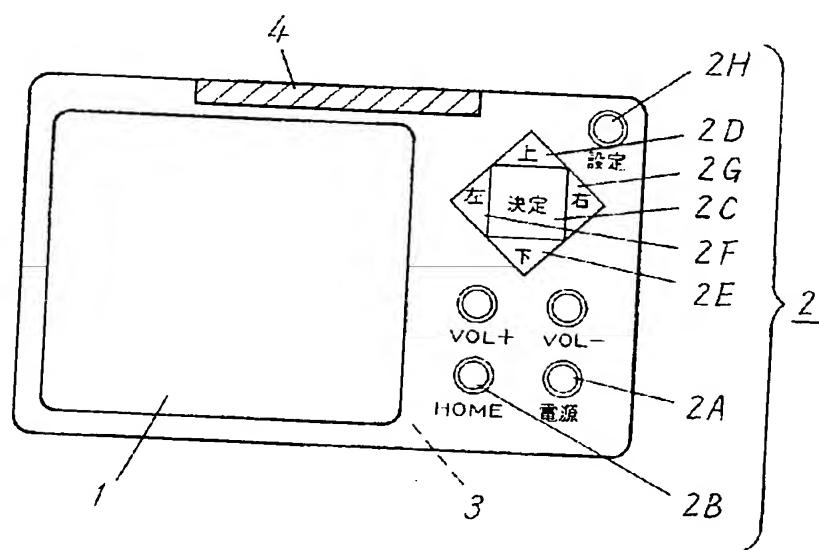
【図 4】



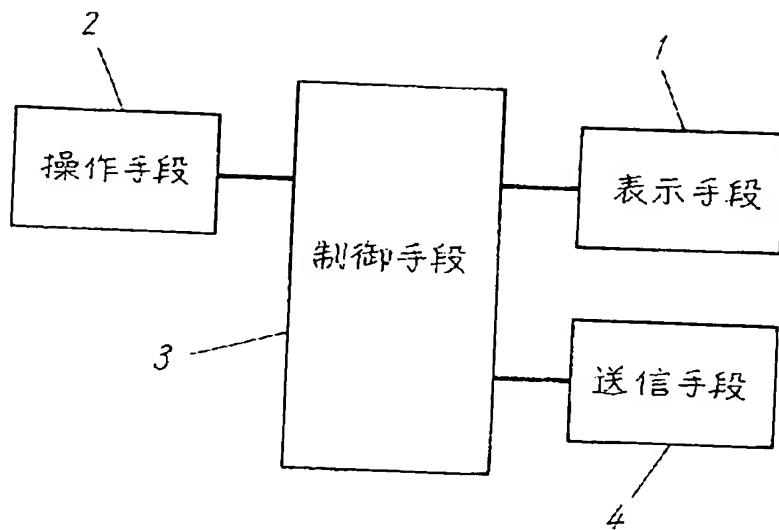
【図 5】



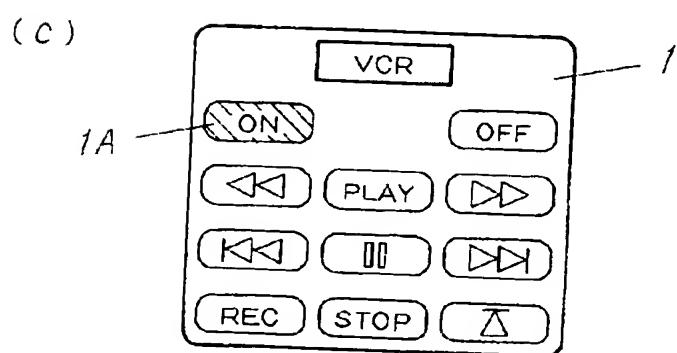
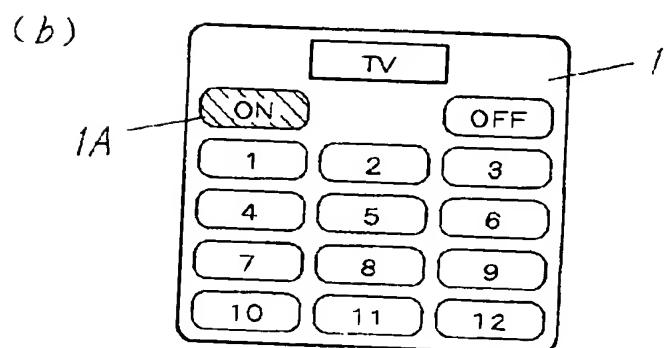
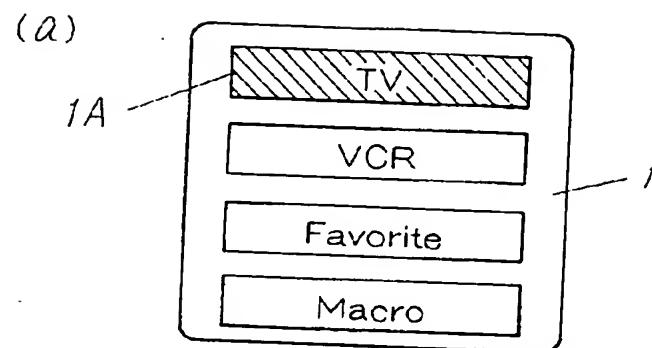
【図 6】



【図7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 機器の遠隔操作を行うリモコン送信機に関し、所定の機能を設定し易いリモコン送信機を提供することを目的とする。

【解決手段】 操作手段12の操作によって個々の機能21の組合せを表わすグループメニュー20を選択すると、制御手段13がこのグループメニュー20の個々の機能21も同時に表示させるようにしてリモコン送信機を構成することによって、複数のグループメニュー20の全体像と所定のグループメニュー20の個々の機能21の対応が分かり易いため、所定の機能を設定し易いリモコン送信機を得ることができる。

【選択図】 図1

特願2003-073847

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

1990年 8月28日

新規登録

大阪府門真市大字門真1006番地  
松下電器産業株式会社